

〈第17回〉 東町小6町内子ども会 「お楽しみ会」 育成会会長 有働千鶴子、福永絵理

令和2年11月21日（土）に小学校の体育館で「お楽しみ会」を実施しました。

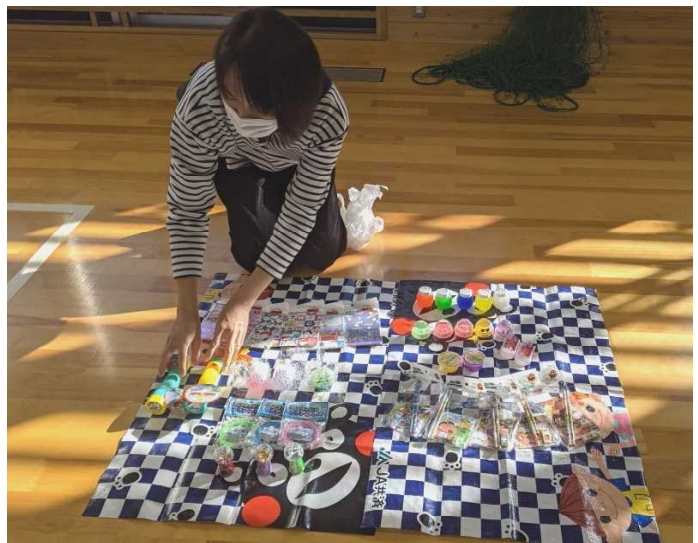
例年なら、春のお見知り会や夏祭りや1年を通じて子どもたち向けの楽しいイベントが多くあるのですが、今年度は、コロナ禍の影響で夏の廃品回収以外何もできていない状況でした。

「このまま1年を終わらせてしまうのは、あんまりでは・・・」ということで役員でアイデアを出し、通常12月に行っていたクリスマス会を前倒しする形で「お楽しみ会」として実施しました。

熊本市子ども会育成協議会からお借りした「わなげ」や手作りの「さかなつり」「くじ」「じゃんけん」を準備し、それぞれに小さな景品を付けて、子どもたちに楽しんでもらいました。



楽しかった 輪投げ



いろんな種類の 景品



開会式 ゲームの説明

輪投げは学年によつて的までの距離を変えましたが、なかなか難しかったようでした。しかし、「楽しかった！」との声が多くありました。

また、ゲームが終わった子どもたちが密にならないよう、ディスゲッターを設置し、並んで順番に遊べる場所も作りました。

極力密にならないよう、子どもたちを4グループに分け、スタンプカードを配布し、それに従ってゲームを一方向に進んで行くよう指示しました。

また、ゲームの配置も、体育館を広く使い距離を取る形で設置しました。

子どもだけで60名が参加するイベントとなりましたので、全方向の窓を開け、換気にも十分注意し、また、各ゲーム毎に消毒液も準備し、できるだけの感染症対策を講じました。

開催当日まで、「開催できるのか？この大人数で実施して大丈夫なのか？」と不安も大きかったですが、無事開催できてホッとしました。子どもたちの久々の笑顔を見ることができ、やはり開催して良かったと感じました。役員の皆様、保護者の皆様いろいろとご協力ありがとうございました。

事務局から

事務局長 白石和典

- 1 お忙しい中に、原稿と写真をお寄せ頂きありがとうございました。コロナ禍の中で実施に際しては色々とお悩まれたことだと思います。しかし、何とかして子どもたちに行事を楽しんでもらいたいという育成会の皆様の気持ちが、この様な素晴らしい活動に結びついたのでと思います。
- 2 新型コロナウイルスの感染予防対策にも大変配慮された様子がよく分かります。写真でも分かるように、体育館を広く使い各ゲームの設置は距離をとり、密にならないようにグループ分けをして、一方向に進むようにし、また体育館の換気、手、指等の消毒も行い予防策も万全でした。
- 3 子どもたちは何種類ものゲームをすることが出来て大変楽しかったようですね。そばにいて子どもたちが笑顔で楽しんでいる様子が肌で感じられたことだと思います。
- 4 景品もいろんな種類があるようです。準備も大変だったことでしょう。役員の方々その努力を含め、行事の企画、運営、そして皆様の協力に敬意を表します。お疲れ様でした。
- 5 東町小6町内子ども会の益々の発展と子どもたちの健やかな成長をお祈りいたします。